

こんな所に住宅難餘波

留置人の食事難

宴賓樓の身賣に順天署大慌て

満系警察官も道伴れ

達に就問題化し、都府の選
 選に住宅難の餘救を占めて市
 内立住居の一角を占めていた
 名物の飯店實家は蒲鍋料理
 會社の職員住宅に廿九日を期
 して明滅つた。同店の方
 業停止に傾つた先に悲劇を舉げ
 たのは格別天際警察官の食糧
 政と同じ状態に置かれた狼狽
 事も同時にストップ。これは

除名の請を無効宣告した建業を
 唯一の食市場所としていたの
 で、同店が營業を停止するのと
 共に食市場所のことが出るやう
 なり、城内方面の飯店に託交
 しては何難か遠いので、選ん
 だ。其業も近しく社宅に身をも
 決定、同業社も又住宅に變ら
 うと、住宅難は順天層一
 番ひどくこたへてゐる。

博多館地鎮祭
 國立博物館地鎮祭は昨日午
 前十時から安民廣場附近の
 同新築会場において、吉民

とき、あつた。午首都府警察官に於
 ちの儘して置く譯にはあらず
 ら配給を受けることにつた
 が、管の家庭が漸しに美
 いたため、特殊會社の住に狙
 ひ午後一時頃散會した

場に参加し、日藩警備隊の格
 の裡、大目敵衛の盛裝を拵け
 終つて、同花祭りの盛びが大
 けり、押立て、市中有を行
 ひ午後一時頃散會した

海軍感謝の夕盛況

將兵も混つてニコニコ

聖職下第三十回總務部全日
の行事第一九の國務省とこ
この内外地を問はずその時
局に相違ない感謝の場へ展
開し無事感懐の願へた
その翌日を以て陽曆新年を
祝國難降は廿八日午後七時
から西園供養堂で千代女中
心とし上海海運部の支店を
中心とし會場入口の並居前
舞台裏方に演劇二巻、輕快な
行進曲の演奏に迎へられて
大連市のご会費へお別れ
込む、坊ちゃん送還後の演劇

武官船の被殺も申上つて
一入場、総督府では超
議員の盛況である。定期司會
者の開議の際からは又昌起
立の日露戦争並に分文を宣
説將士の英霊に對し、四國
盟約を維持して爲るべき、
廣島小學校、室町小學校、白
菊小學校、昭和の幼稚園等に
今日ばかりは何も題外なく今
般の用をくすし、拍手を接
する児童のあとをば、陳氏の
電氣扇の吹奏は陳氏の
有指揮により議員の聴衆を

恍惚とし最後に映畫「國魂の
花」に感激の涙をそそぎ終給
海軍部への念に燃へ、そのの
夕刻（寫眞は謝意感謝評
語の附）

滿洲佛教總會
建國忠靈慰靈祭
滿洲國より發見陵墓の華
人及び連つて設立運動の華
され、幾多建國の英雄が死
つ新天に感謝と慰靈を主眼で
行はれた、滿洲佛教會では
廿七日午後一時忠靈塔前を執
行した、佛教信徒約三名が祭

軍需景氣の餘得

文科系統へ及ぶ

工科卒業生と限らぬ

【東京函達】戦時下東京景況を諷刺するものにはあが、工科系統の卒業生には限らぬ、文科系統又その餘裕に預つてゐると、ふ知識階級、脚に惹ける」字が二十七日日経に掲載された。これは昨

春、學藝、專門學校及び中等學
校卒業生立つた男女卒業生につ
いて同年五月末現在に調査し
たもので、それによつて工場
職山の工科系統の卒業生採用
率は一六・七パーセント、中
等學校では昭和十一年の九・九
パーセントから一〇・六パーセ
ントに、專門學校では二〇・一
パーセントに、高等學校では八
・三から九・七パーセントに上
つた。これは昨

上、專門學校では二〇・一パー
セントに、高等學校では八・三
から九・七パーセントに上つた
。これは昨

く開戦グーリ球野

[illegible]

遼陽忠靈塔除幕

夕闇に遷座祭舉行

日露戦争に際しては、國の英雄たる
の武勳を讃じて、國の英雄たる
の一勇士一萬四千八百九十
柱を讃頌せらるべき旨の
新裝した遊樂會場での義上
式並に遊藝の二十八日間
日本の盛衰が氣盛なる中、明け
た。この日開光儀然と日を
照らし、社村遊樂會全市民
母の旗と共に飾られ、遠處
市民の類も今般かな色澤を
つゝある。準備なれる豪華な
遊藝會、國籍、學生、市民
等三千餘名と懸別列立し
開式待て、やがて午前十一
時竣工式開始され、祭平
井神官より、國東軍艦大
官全權大使代理川原重雄
長、軍部部長山村部長、矢
部團事理事部長、坂井節郎
部長、丁運市市長など唐々と新
装の記念給ひ、坂井節郎議長
の祝詞後、再び節郎議長が
潮宮高石氏（燈臺島久千五）

委員長、坂井節郎議長の挨拶あり
午後三時半分開式した。観い
て元佐伯君に奉安中の國籍の
英連一萬四千八百九十柱を
新裝の時裝中に奉進す。司令
祭は午後終り、但し關東軍艦大
官全權大使代理川原重雄
長、軍部部長、坂井節郎議長、
丁運市市長以下軍官長官等
多數参列し、式には厳肅な
執行られた。式は元佐伯君
おける事の儀に始められ、

大新京檢番
技藝獎勵會
慰問公演
一般への公演で日曜日で
大入満員の盛況を呈した
招待の夜は公演である

大朝議院の第一廳は藝妓で、二十日正午から公會堂で出征部隊入道家來及び開演大喇叭を招待した。午後六時から、上座を留した立並の餘地なきあり、博士は第二の舞臺は軍隊因に第二は同じく舞臺は軍隊直は舞の招待演藝。

いてみる。大學工科出の最良平均は昭和二年の八十圓、國庫券から廿三圓に、最低六十二圓十錢から七十五圓にとはねたつたのを筆頭。何れにもくんと長く、文科系統は大學出の最高平均昭和十

別れの辛さに

南嶺下情死

店員と五馬路の女

は昨年十月から一五年契約二千
地南万野原を築田園縣中の滿
州國勳兵李上等兵野犬に喰
ひ荒された日本一男女の情死
體面を發見、四週署から歸り
死體、朴實醫館に檢診の結果
男果て市内某商店員、東京都府
市東田郷生れた大島三郎（二六
歳）は市内五馬路三料亭（六
辰の角へ）酩酊活士と仲繼懸
五馬路其志願街生れた大宜美子
（二七）と別居した。落字
筆跡を彙集して後、金花に歸きし豆

は昨年月十月から一五年契約二千
の租借で大阪へ歸くうち、
大島と本年一月から朝妻
となり逢離を重ねてゐたが、
大島が事情あるや内地へ歸
ることになり別れねばならぬ
かつたので別れの幸さと厭
世感のため二十四日を電話
で呼び出し兒玉山下同僚の
酩酊金花と三人ホテルに乘
り入り、大島を殺害し、金花

女子行され第七回西日本
女子陸上競技選手権大会に於
て中京高女の平手浦久恵は走
距離に一米六分の二、從來記録
を樹立した。従来記録は
同種の一米五十六分

満待從武官 満待從武官
は遠隔患
官遂願へ 塔邊縣警
列のため廿八日午後九時三十分
分新嘉坡登陸下した。

坂間大阪市長

昨夕來京

断然傑出した
大評判の
キングレコード

の月

晩春の宵、至
る處の窓から
洩れるこのメ

Columbia

♪


詩・高橋掬太郎
曲・明本京靜

霧島昇

女流浪界

春野百

六月
四三
日日
二日

<p>四月無月</p> <p>乾燥法實驗案内</p> <p>乾燥せしに水分を抜き取り、使用に際し水に浸せば又元 形蘇生す。氏（新潟縣吉田町）の來稿を按じ左記の如く公開</p> <p>より午後四時迄 農事試験場</p>	<p>鐵大信洋行新京支店 滿洲農機具研究所 新大陸編輯部</p>	<p>RYUKYU GALLERY MIKKE GALLERY</p>  <p>デール クロス ナフキン セツト</p> <p>新京大同大街 電(2)2916</p> <p>MIKKE GALLERY MIKKE GALLERY</p>	<p>冷蔵庫無料奉仕</p> <p>例年の通り御家庭用冷蔵庫無料御 貸付を致します</p> <p>御申込は六月五日迄</p> <p>但し御申込定数に達しないれば御断り致します。また お思ひからず御断願下さい。</p> <p>毎日氷配給 壹ヶ月國幣六圓也</p> <p>新京製氷所</p> <p>電話(一)三八五番</p>	<p>たみ山村置店</p> <p>うなぎ</p> <p>蒲焼</p> <p>割松華</p> <p>御宴會は 三十名様迄 特に御相談</p> <p>東一条通十四 番電話三三〇九五</p>	<p>の最高峰</p> <p>白百合子</p> <p>來演</p> <p>於記念公會堂</p>
---	--	---	--	---	--

新京日日新聞

刊夕
日九十二月五
本紙定價：本埠每月一元二角，外埠每月一元五角。零售每份五分。廣告費另議。電話：編輯部二二二，發行部二二三，印刷部二二四。地址：東京市丸の内區有樂町二丁目。郵政管理局登記證：第三〇九號。印刷部：東京市丸の内區有樂町二丁目。電話：二二四。印刷部：東京市丸の内區有樂町二丁目。電話：二二四。

計時
書店計時谷中

開拓民國策大綱に 日滿政府意見一致

現地案に全面的檢討

主要論議内容

【東京二十日路透電】日滿兩國政府は、開拓民國策大綱の第一回試案を、二十日午後、東京市丸の内區有樂町二丁目の日滿兩國政府合同委員會で、全面的に検討した。この試案は、日滿兩國政府の共同で、満洲の開發と建設を目的として、一九三七年に策定されたものである。この試案は、日滿兩國政府の共同で、満洲の開發と建設を目的として、一九三七年に策定されたものである。この試案は、日滿兩國政府の共同で、満洲の開發と建設を目的として、一九三七年に策定されたものである。

敵兵站路線遮断に成功

閻底鎮鐵橋爆破に成功

【瀋陽二十日路透電】空軍は、二十日午後、瀋陽市郊外の閻底鎮に、敵兵站路線を遮断するために、鐵橋を爆破した。この爆破は、空軍の攻撃隊が、敵兵站路線を遮断するために、鐵橋を爆破した。この爆破は、空軍の攻撃隊が、敵兵站路線を遮断するために、鐵橋を爆破した。



わが陸戦隊の警備（上海附近）

ソ聯國境地方の 國防組織を強化

積極的武裝化を急ぐ

【モスクワ二十日路透電】ソ連政府は、二十日、國境地方の國防組織を強化することを発表した。この発表は、ソ連政府が、國境地方の國防組織を強化することを発表した。この発表は、ソ連政府が、國境地方の國防組織を強化することを発表した。

我空襲實に四千回

傷死七萬五千を突破

【東京二十日路透電】空軍は、二十日、我が空襲の回数に四千回を突破した。この空襲は、空軍の攻撃隊が、我が空襲の回数に四千回を突破した。この空襲は、空軍の攻撃隊が、我が空襲の回数に四千回を突破した。

米新中立法案

下院外交委員に提出

【ワシントン二十日路透電】米新中立法案は、二十日、下院外交委員に提出された。この法案は、米新中立法案は、二十日、下院外交委員に提出された。この法案は、米新中立法案は、二十日、下院外交委員に提出された。

共産黨、抗戰分野に 實力的進出を圖る

蔣政權の不安深刻化

【南京二十日路透電】共産黨は、二十日、抗戰分野に實力的進出を圖ることを発表した。この発表は、共産黨が、抗戰分野に實力的進出を圖ることを発表した。この発表は、共産黨が、抗戰分野に實力的進出を圖ることを発表した。

海軍省選定歌

／せは伸
／線命生の國皇
集募毎大・日東

太平洋進行曲

トコロレタケ

美術大校場

畫期的新考想
／斯界。最高峰

花園會館

カフエー

新電 京大和通五〇番

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
84

100

江連の、その雪江は、聞けばこの頃、津波の觀看を夜前ををするといふ。うしろに身置か、そも何の心願でござい……父の仇兄弟の、それに……。浮城の、そのみかたが、知る年頃ではあるまじく、六兵衛はまた、雪江をあはれにも思ふ。

陽影の、川端だつた。「何んぞ、お前……市ささんやねえ。」

背中に、籠を背かつて、はんきり、面の方に附けた、佇んで、市助を見と、ほろ苦く判れた頻の響きが、滋味のある笑みに變つた。

「焼酎にお前、風流な真似をして、やめな……これやどの、やめな……格好やないか」

「ええ、飛んでもない……」

市助は、どうも兵衛に見つけられ、言ひ方次第なものゝ、風な、彼の方だつた。文兵衛は、にやと、その市助をきやなりな。

「さうだ、やねえ……まさか

「ふむ、市さ……江戸の……ど……」

「いゝね、市さ……お世難まるる……お前、誰探せる……どう？」

ちと、市助を見て、急ぐへらうな埋居る。兵衛を押へた。

「はい……」

かうする、市助は、

「少々會ひたい者があして、かつて先から待つて居ります」

六兵衛は、その市助の意見がある、何んもなく氣にな表請うかくべた。

商況
元前報

海外經電電報

倫敦電(倫敦電)三五月二日
紐育電(紐育電)一九九片
倫敦電(倫敦電)一九九片
先物
四角銀現 五十四圓四
五十五圓二
五十六圓二
五十七圓二
五十八圓二
五十九圓二
六十圓二
六十一圓二
六十二圓二
六十三圓二
六十四圓二
六十五圓二
六十六圓二
六十七圓二
六十八圓二
六十九圓二
七十圓二

市併古小麥
九月限
十月限
十一月限
十二月限
一仙
二仙
三仙
四仙
五仙
六仙
七仙
八仙
九仙

進貢棉花
一月限
二月限
三月限
四月限
五月限
六月限
七月限
八月限
九月限
十月限
十一月限
十二月限
一仙
二仙
三仙
四仙
五仙
六仙
七仙
八仙
九仙

[illegible]

五十六國圖

[illegible]

萬曆四十年

[illegible]

受信者ノハニホシヲクシウケテ

餅祝子菓引

大福餅

おにぎり

上生菓子

通共中

七八九五の電

く、軒下の魚や餌を止めるのに、
縄の預所を必ずお報せ願ひ
ます

電業支店
電業相談所

MILK • 1/2 MILK

	12,0	3,15	7,09
	1,50	5,00	8,50
	2,10	5,31	9,20
			10,20

日曜は十一時より上映

廿五日より三十日迄

大	2, 54	6, 4	此 五 日 上 月 三 十 日 迄	
便	3, 31	7, 19		
座	12, 06	3, 48		7, 36
大郎	1, 05	4, 58		8, 41 1, 20

十一日開映毎日開映迄廿錢割引

7,2
8,0
9,3
10,2

ニ	ユ	一	ス		12, 68	4, 29	7, 3
三	人	姉	妹		1, 44	4, 57	8, 6
初	姿	人	情	爲	12, -	3, 11	5, 25

廿六より廿九まで 四十銭

豫告 一日より

豫告 一日より
お加代の覺悟
菊水太平記
豊劇
△近日公開▽
は活本格的音楽映画
日の丸音頭
江川・月形・轟主演
尊王村塾
新京キネマ

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

室内外の塗装は

關東軍・滿鐵・滿洲國・御指定

合名 會社

TA

天野商店塗装部へ

電話代表③六二二番

[illegible]

國產の權威

グロタカ



家庭用
職業用
工業用

日本ミシン製造株式會社
ブラザーミシン代理店

支店長席	(3)	六八七九
庶務係	(3)	二四八五

[illegible]

内科学博士 小堀茂穂

[illegible]

川口松太郎 作
 (サンデー毎日連載)
 藤田潤一 出
 大日方傳
 花井蘭子
 英百合子
 主 演
 座に變らぬ人の世
 眞心の美しさ！
 朴な銚後の姿を
 高く東寶映畫の白
 屏篇！
 週
 一日封切
 帝都

シネマ・アロゲ
監督リアヅルが
君を夢みて
原の楽曲作さ若手捜を廣合いし美の主の歌 主 ダタナエシ・ダダ
精名のひ笑と梁吾手の 演 トスルキフ・リイウ



お茶と茶道具の店
みどり茶園
新嘉吉野町一丁目
電話（三）四七七〇番

パ
チ
ダ
イス
デ

花園
味のデパート
味
新東京
電話

傳 字 立

各國旗入啓帳其他印染御詔染

京染専門

ちどりや京染店

新東京一丁目三三八

電話 三六三三 三六四三

滿洲櫻

麥粉 白米 特產物 土建材料 清酒 麥酒 罐詰 海產物 砂糖 水飴 綿製品 棉花 石炭 雜貨 石炭 殺虫劑 保險代理

輸出入 代理 會社 合資 光武商店 本支店 所出張

哈爾濱 齊齊哈爾 黑河 南區 馬路 八里 區 路

その翌日警察からの電話でも立たなかつた。母夜郎のやうにカアエーからカアエーに渡り歩いて借金カアエーどうにもくにもならなかつた。思ひ陰つて小遣を母にせがんだが元來吝嗇な母親は一文の金も呉れなかつた。父親に話したつた。

[illegible]

心

中に入つて行くと、数日間
の三木満の習がぐるぐる、彼
はもううげに腹を開き、こ
んな怪けな腹を覗く、小さな
馬車に立ち上つた。「空い
てある部屋があるかね？」私
は強てさう尋ねる外なかつ
た。この三木みな空いてな
か、且、且！」さう言ひなが
ら、彼の灰色色した白布
の纏を、々々あげて見せた。
「さうな、たゞ大失火でか
つた部屋を」と通り繁した
まゝ失望しなめた、大い
に見識をあらわした、これも旅
館のうぢやうだ！
「魚市街の警察に」
馬車に乗つて、一分間ほど
「警察本部で親合良い旅館は何
處にあるかね？」
と馬車夫に尋ねた。
「良い」となるとあはしま
せん、みなばらの家棧はか
かりで！」

さうよ、彼はさう解明した。さうして私が泊るにあらうかと考えたのであらう。機さうした。これは初めは白紙で、何年たつたのを知らず、もう氣化作用といふ色によつて化學作用をして、黄色になつてゐる。その棚には少くも三つ位、雲みがある。これ一層室内に飾りがある。それは、又大の長さは、足りた。これは、たの角には乞食が得意ふやうな衛門をくるるものがある。或ひは乞食がたに置いてあるものであらう。かゝるね、私はその三間

全く思ひだつた。達磨様で、第一に驚かされる應永に見る。8月、もう良いのは、いであらう。應永より泊るといふ

教育で敬達と信仰の経験と意義ある真理についての話を長くした。それは、同様に私の信仰を堅めた。それ、更に私は生命に對しての認識を磨き、これは客とて西にへて標示した。あつた。私が教育を主としたのは、もう黄に近かつた。急いで宿屋をねらふこととした。一人の馬車にのり、私は新

占微

しづかお前のとよりは
異國にさすちへる
旅人の心を包みぬ
人の世に破れ果れし
年未だ二十にみた男の子が
今靜かに
時世を想ひぬ
永夜を胸にひめて
理想の國さにも無く
放浪の旅人は今
薄暗く同聲に續はりて
かそきを續きぬ

二十年餘りて七
今は呼びしれど
君が雄叫びは永久に
詩人の生命の火なり
一日暮れて 日來る
味もなき人の世の……
生きとる旅人の心……
探は破れし情はくだかれぬ
人の生命の自由も
東郷と蘭蘭……
少し高き橋の上……
今はかき世を君!

るやうに、仙の辭解を耳にしなかつた。

「山田さん、これはとても困つた事に成りましたなあ、まあおかしな事だ！」

翼長に至りては、山田はもう散々の態であつた。

「王鳳仙云々」夫人の事務員が、行方不明この女の爲め傍若無人の女でござへんかこんな性質の女ではござへんか……」

翼長の言葉に思はずびぐりとして自分から狼狽し出してと想つてつゝめつて平靜目装束した人足は幾上つて来た。

「主人の足立、言ふのを聞くべし。眞面目な模範的なものださういふ、一昨日も分相違なく着て居ります。」

併しその女は短氣な事はあません。」

「翼長、全申せがありませう。早速復讐出す事にします。私私もこれにて居ます。」

た、足立は驚きそれより息子は墮落する、今後を氣を遣ひますかどうせよく御願ひ。」

「いやや」「王鳳仙を見出し、お花巻を」「眞面目に出れば許すぞ、幸ひ息子さまは眞面目になる決心されたから云へない、事はない、是迄」と云へば極端な人物だ、夫一行軍装をした事もあんだつた惜しい事をしましたなあ、いや全く足立は立派な模範人物です、一昨日も分相違なく着て居ります。」

「お聞きまし、敬服！他はあません。」

連載中、道標が今月は第三回目である。
あくまでもフィクションである。たとへば、肉づつがあ
つて興味が湧く。作者のはげしい打込め方の所産
であらう。

蠅に引かれて出来たのが大きな子、或は、商家の娘
の嫁に引かれて来たその商賈の一番の生計を三人の娘
があつては嫌なくして、地獄へと嫁ぐのを欲する。持つて
この娼婦で、老人の女に、一晩か二晩かの間に淫靡な
一種異常な淫靡な力をもった作品となつてゐる。小説
によつて作られた大々的なものではないから、小説の
面白さはそれなりに展開されてゐるのである。(御正術)

豊かな虚構
——岡本かの王生・流轉——
（文庫界六月號）

[illegible]

「颯々！國境五千杆
界劃する薄國境問題の簡
易な解説」として書かれた
フランス語である。滿洲國
境の地勢、交通點等は、概
略的に述べた。交通點は、
國境規定に必要の諸點に
分る附録として、報告した。
（『國境點と報告』）

●新報中央社（四三號）滿洲國
通信稿（一四號）

●電話接續調査會「ハンス・
ドナウ」そのの研究を盛る
（『滿洲電信電話株式會社』
三十號）

●鈴木科學院「戰爭と二卷二號」
鈴木梅太郎、一戰學と連綿の
矢野龍一、李純之、陳延炯の
試験と漢書、一戰修練の渡
邊政敏、櫻井的料の利用

●力大軍世界（一月號）
大軍技師、南方拓殖の今
地開墾、北滿洲移民土地
問題と海外禮式。（東京市
樺太町小橋）力行世界社
三十號）

●大商工公會報（三月十
五日號）
三月十五日號至五月末、ま
たのはどうしたことか（一
天南工公堂）

●實業と世界（六月號）
信託事業、今後他經濟に
支拂つての需を感づて、
東京市東區本國寺町二
地盤賣却、世界社四十號

●明
●電車
●日本

情誼は若人の心を去り
ネクラの裏に聚ふ人
人皆心に化粧して
赤き血の花咲く
異境と睡僞の巷に
直經の鐵路……
人は思念を忘れ
睡僞の如……
呼ぶ聲也
永く不滅の若く情熱の光一
君は山吹本君の特長よ
一啄水雲へ呼びかゝ

娘が肉體的に持つてゐる
つてゐる。たしかに虚構
とわかりながら、小説の
てゐるのである。

(御垣衛士)

に就て「木塚輝雄」畜肉の
冷凍に就て」等を盛る(國
務院大陸科學院、一圓)
大陸科學院研究報告(三卷
一號)

A. S. LOGKASHIN
IN ON THE AV
FAUNA OF NO
TH MANTHURI

正しき治淋劑！

ツヨール

急性淋病・慢性淋病

淋毒性膀胱炎、腎臓炎、一般泌尿器疾患

本品の殺菌力は病原菌ゴノコクセン
を迅速に撲滅す、最近流行の治淋薬
の最大缺點たる忌むべき副作用を伴ふこと
なし、陸軍薬局方に収載され賞讃を博す。

ツヨール合資會社

本社 東京市日本橋區江戸橋二ノ六
支店 大阪市東區伏見町二丁目

A detailed illustration of a medicine bottle for 'Tsuorin' (ツヨール) lying on its side, with several dark, oval-shaped pills spilling out. The bottle has a label with the brand name 'Tsuorin' in large letters, and smaller text including 'NEO-SYLVANOL', '20 TABLETS', and 'KAWAUCHI PHARMACEUTICAL CO. LTD. TOKYO, JAPAN'. There is also a small star-like logo on the label. The bottle is decorated with a pattern of leaves. The overall style is that of a vintage Japanese advertisement.

三吉



豫約募集!

切 六月三十日
十時正 銀座全士枚
堂華アル・ム附

毎月二枚
宛、日本一
のお師匠さん
のメドをお届
け致します。

詳細は
特約店
にて

三吉 名盤時選集

小唄

代時 **アヒムロク** は **ドーフレ**

御誂の御相談はタケヤ靴店へ

三吉二ノ一 三號五三三六

申込みはお早くノ

Columbia
 



田中製薬
山土堂

社 會 式 株 有 限 公 司

店 支 店 商 吉 友 澤 藤

面 上 ・ 藤 友 ・ 藤 友 ・ 藤 友

(販 大 販 小)

二 千 五 百 錠

一 千 錠

二 百 七 錠

錠 劑

精 肝 友

い 易 み 服

精 の 油 肝

腸 胃

核 結

血 貧

淋病

明說書進呈

胃腸病 結核病 肛門病
婦火病 蓄膿症 皮膚病

東樂生堂口線新宗慶院

祝聖丁巳（西本願寺）臘八

かゝつたら
早く求めよ

 **ポ
ー
ル**

